



くも 雲はどうしていろいろと形をかたをか 変えるの

じょうしょうきりゅう くも 上昇気流で雲ができる

ちひょうふきん くうき あたた 暖められると、くうき 空気が軽くなって、じょうくう 上空にのぼろうとするくうき 空気が流れます。これをじょうしょうきりゅう 上昇気流といえます。

くも 雲ができるところでは、じょうしょうきりゅう 上昇気流が起きています。くも 雲は、じょうしょうきりゅう 上昇気流によってつくられているのです。くうきちゅう 空気中には、すいじょうき 水蒸気がふくまれています。くうき 空気があたた 暖められると、じょうしょうきりゅう 上昇気流によってじょうくう 上空にのぼっていきます。このくうき 空気にふくまれているすいじょうき 水蒸気が、まわりのつめ 冷たいくうき 空気にひや 冷やされて、ちい 小さなみず 水やこおり 氷のつぶになり、これがたくさん たくさんあつ 集まって、そら 空にうかぶくも 雲となります。

くも 雲ができたりきえたりしている

じょうくう 上空では、うえ 上にむ 向かってふく 吹く風だけでなく、よこ 横やした 下に向かってふく 吹く風もあります。うえ 上に向かうかぜ 風がふいている、じょうしょうきりゅう 上昇気流のあるところでは、どんどんくも 雲ができています。その反対に下に向かうかぜ 風がふいているところでは、くも 雲をつくっている、ちい 小さなみず 水やこおり 氷のつぶがすいじょうき 水蒸気にもどり、くも 雲はきえ 消えていきます。

くも 雲の中やそのまわりでは、いつもうえ 上にふく 吹く風とした 下にふく 吹く風があるので、くも 雲ができたりきえたりしています。

くも 雲がどんどんできているところでは、くも 雲のかたち 形が変わっていき、また、くも 雲がどんどんきえ 消えているところでも、くも 雲のかたち 形が変わっていきます。このように、たえずくも 雲ができたりきえたりしているために、くも 雲はかたち 形を変えます。(監修・村山 貢司)

